

橋梁定期点検集計表

レベル1 工事区分		道路調査		数 量 計 算 書			
標準歩掛		摘 用	単位	算 出 基 礎			当初 計
							変更後 計
計画準備			橋	15m以上3橋			3.0
協議資料作成			機関	河川管理者・JR北海道			2.0
				= 2			
現地調査			径間	別紙補正係数算出表の通り			9.8
				= 9.8			
現地調査(深夜割増)		深夜割増	人工/径間	通常人工 割増対象賃金比 割増係数			0.06
		山下跨線橋		0.5 × 0.55 × 1/8 × 0.25 (深夜)			
		技師(B)、(C)		割増すべき時間数			
		技術員		× 7.0 (午後10:00～翌日5:00) = 0.33			
点検調書の作成、照査・検討			径間	別紙補正係数算出表の通り			8.4
				= 8.4			
打音検査			日	別紙打音検査総括表の通り			0.41
		山下跨線橋		= 0.41			
打音検査(深夜割増)		深夜割増	日	別紙打音検査総括表の通り			0.41
		山下跨線橋		= 0.41			
		技師(B)	人工/日	通常人工 割増対象賃金日 割増係数			0.14
		技術員		1 × 0.55 × 1/8 × 0.25 (深夜)			
				= 0.06			
		技師(C)	人工/日	通常人工 割増対象賃金日 割増係数			0.21
				1.5 × 0.55 × 1/8 × 0.25 (深夜)			
機械経費(橋梁定期点検)				対象橋梁:3橋			2.4
				ポント沢橋、平成橋、山下跨線橋			
			日	現地調査係数 現地調査歩掛 打音検査日数			
安全費(橋梁定期点検)				4 × 0.5 + 0.41 = 2.41			
				対象橋梁:3橋 (橋梁点検車使用)			3.0
			日	現地調査係数 現地調査歩掛 打音検査日数			
				4 × 0.5 + 0.41 = 2.41			

[illegible][illegible]

[illegible]

橋梁定期点検集計表（定期点検）												
橋梁名	路線名	現地調査(径間)			点検調書の作成(径間)					点検・診断結果の照査・検討(径間)		備 考
		技師B	技師C	技術員	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	主任技師	技師A	
ポント沢橋	実豊音根内線	0.80	0.80	0.80		0.09	0.81	0.81	0.81	0.18	0.18	
平成橋	北浜基線	3.60	3.60	3.60		0.66	5.94	5.94	5.94	1.32	1.32	3径間
山下跨線橋	山下通線	0.50	0.50	0.50		0.09	0.81	0.81	0.81	0.18	0.18	夜間点検
合 計(A)		4.90	4.90	4.90		0.84	7.56	7.56	7.56	1.68	1.68	
1径間当り(B)		0.5	0.5	0.5		0.1	0.9	0.9	0.9	0.2	0.2	
数量(C)	A/B	9.8			8.4					8.4		
	※夜間点検	0.0			0.0					0.0		

【打音検査】

	山下跨道橋
打音検査面積 ΣA	128
基準作業量 $Y0$	51.16412536
橋梁間の移動時間 Dm	0.1
足元条件係数 $K6$	1
1橋当たりの点検日数 D	0.41

$$D = \frac{\Sigma A}{(8 \times Y0) \times K6} + Dm$$

機械経費(点検車)												
橋梁名	路線名	現地調査(径間)			点検調書の作成(径間)					点検・診断結果の照査・検討(径間)		備 考
		技師B	技師C	技術員	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	主任技師	技師A	
ポイント沢橋	実豊音根内線	0.30	0.30	0.30		0.06	0.54	0.54	0.54	0.12	0.12	
平成橋	北浜基線	1.20	1.20	1.20		0.22	1.98	1.98	1.98	0.44	0.44	
山下跨線橋	山下通線	0.50	0.50	0.50		0.09	0.81	0.81	0.81	0.18	0.18	
合 計(A)		2.00	2.00	2.00		0.37	3.33	3.33	3.33	0.74	0.74	
1径間当り(B)		0.5	0.5	0.5		0.1	0.9	0.9	0.9	0.2	0.2	
打音検査日数		0.41										
計		2.4										